



学校だより

令和4年6月22日

射水市立作道小学校

207号

1日のスタートは、爽やかな挨拶から



6月9日、10日の2日間、「さわやかあいさつ運動」を行いました。本校の子供たちだけでなく、PTA役員の皆様も参加してくださいました。登校してきた子供たちは、校門から玄関に向かって並んでおられる方々と挨拶を交わしながら元気に学校に入っていました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。学校では、毎月25日に担当学年児童が順番に玄関前で子供たちを挨拶で迎える「にこにこあいさつ運動」も行っています。挨拶の語源は「一挨一拶（いちあいいちさつ）」という禅宗の問答に由来した言葉で、「挨」は、心を開くという意味、「拶」には、その心に近付くという意味があります。つまり、挨拶とは、「まず自分の心を開くことで、相手の心を開かせ、相手の心に近付いていく」という意味だということです。挨拶は、人間関係をスタートさせるための大切な言葉なのです。毎朝の気持ちのよい爽やかな挨拶は、学校全体を明るくしてくれます。自然に挨拶が交わされる、挨拶をするのが当たり前の学校を目指していきたいと思っております。ご家庭でもお子さんと挨拶の大切さについて話し合ってみてください。



<スマホ・ケータイ安全教室>

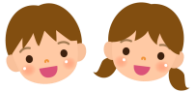
6月10日に、スマホ・ケータイ安全教室を行いました。密集を避けるため、6年生は、体育館で講師の方からお話を聞き、3～5年生は、教室でその様子をテレビ放送で視聴しました。1、2年生は発達段階に応じたDVDを視聴しました。子供たちは、ゲームのし過ぎによる体調への影響やスマホでの友達とのトラブル等について知ること、普段のゲームの仕方を見直したり、今後のスマホの使い方等について考えたりすることができたようです。



<5年 田植え体験>

5月25日に、5年生の子供たちが、田んぼの先生方に教えてもらいながら田植えを行いました。希望した子供は「ころがし」も体験させていただきました。始めはそうっと植えていましたが、段々と上手になっていきました。「楽しかった。もっとやりたい」という声も聞こえてきました。子供たちは、土の感触を楽しみながら貴重な体験をすることができました。お世話いただきました田んぼの先生方、ファーム作道の皆様、ありがとうございました。





笑顔の花を咲かせよう



生活委員会が、作道小学校のみんなが笑顔になるように、「笑顔の花を咲かせよう週間」（6月1日～6月7日）を設定しました。1学期は、まず自分が笑顔になれるようにクラスで「笑顔になる言葉や行動」を決めて花の中心に書き、できたら花びらにシールを貼りました。この活動を通して子供たちの明るい笑顔が増えてきました。そして、1階のマルチスペースに掲示された「笑顔の木」には、かわいい花が咲きました。この取組は今後も定期的に継続していきます。みんなが笑顔になる言動が増えて、明るく前向きで優しさいっぱい作道小学校になることを願っています。

<学校訪問研修会 6/8>

西部教育事務所や射水市教育委員会、射水市教育センターの先生方から、学習指導について指導助言をいただく学校訪問研修会を行いました。授業を参観された先生方から授業のよい点や改善すべき点等について具体的に教えていただきました。今年度、本校は研修主題の「見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的に探究し、問題を解決する子供の育成」を目指して日々取り組んでいます。この日学んだことを生かし、さらによりよい授業となるように努力していきたいと思えます。



<プール清掃 6/13>

水泳学習に向けて、13日にプール清掃を行いました。5年生はプールサイドや更衣室等を、6年生はプールの中を一生懸命清掃し、大変きれいになりました。



<花壇の除草 6/19>

19日の早朝、すみれ会の皆様と教職員で、学校花壇「にこにこガーデン」の除草を行いました。小さな草がたくさんあったのですが、とてもきれいになりました。すみれ会の皆様、ご協力ありがとうございました。



<おはなし広場>

今年度も朝活動の時間に月に1、2回ほど、ピッピの会の方が読み聞かせをしてくださいます。6月17日に第1回目が行われました。子供たちは真剣に耳を傾け、お話に引き込まれていました。このように本の楽しさに触れる機会があることは、子供たちにとってとても大切なことです。ピッピの会の皆様、ありがとうございます。

